

平成 27 年度 決算

普通会計 決算認定特別委員会 説明資料

教育委員会

## 目 次

I	平成27年度教育委員会主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	7
III	歳入歳出決算額	17
1	一般会計決算額	17
	(1) 歳入決算額	17
	(2) 歳出決算額	18
2	特別会計決算額	19
	(1) 歳入決算額	19
	(2) 歳出決算額	19

## I 平成27年度教育委員会主要施策の成果の概要

### 1 新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現

(教育創生課，教職員課，学校教育課，体育学校安全課，教育文化課，文化の森振興本部)

#### (1) キャリア教育の推進

発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を実施するとともに，体験的な活動を充実させることにより，児童生徒の社会的・職業的自立のために必要な能力や態度を育成した。

また，「農工商連携6次産業化プロデュース事業」では，「徳島県農工商教育活性化方針」に基づき，6次産業化による新たな産業の創出に対応するため，農業・工業・商業科設置高校の連携を図り，商品開発を行うなど実践的な教育を推進した。

#### (2) グローバル化に対応した教育の推進

児童生徒にグローバル社会における英語の必要性について理解を促し，外国語（英語）学習のモチベーションの向上を図りつつ，外国語（英語）を使う機会の拡大をめざした。

「Tokushima 英語村プロジェクト・ステップアップ事業」では，次世代グローバル・リーダーを育成するため，「徳島サマースクール（高校生対象）」などの英語をベースとした多様性を育む体験プログラムを，小・中・高校生それぞれに実施した。

#### (3) ICT活用能力の育成

これからの時代を担う児童生徒に必要なICT活用能力の育成に向け，情報モラルを身につけ，必要な情報を主体的に収集・判断・処理等し，発信・伝達等ができるようになるための取組みを行った。

#### (4) スポーツ文化の創造

競技人口の拡大や重点的・集中的な強化策の視点も踏まえ，関係機関との連携を図り各種事業を効果的に進めた。

また，「渦潮スポーツアカデミー推進事業」では，鳴門渦潮高校と鳴門・大塚スポーツパークを中心に，選手育成と指導者養成のための各種大会や研修会，講習会及び総合的な体力診断を実施するとともに，県外チームとの強化合宿等を実施するなど，競技力向上とトップアスリート育成のための取組みの充実を図った。

### (5) 伝統文化の継承と文化芸術の創造

児童生徒がふるさと徳島の文化について県内外で発信できるように、学校における伝統文化・文化財の継承に資する教育を推進するとともに、様々な文化活動の場で活躍できる中学生を「あわっ子文化大使」として認定し、活躍の場を創造した。

また、文化の森総合公園各館において、資料の継続的な収集に努めるとともに、魅力的な展示や体験学習等の実践を通して、伝統文化の継承と文化芸術の創造につなげた。「文化の森25周年事業」では、民間との協働によりスケールの大きなイベントや展覧会を開催し、民間の視点を取り入れた多様な文化の発信を行った。

## 2 知・徳・体の調和がとれ、社会を生き抜く力を育てる教育の実現

(学校教育課, 特別支援教育課, 人権教育課, 体育学校安全課, 教育文化課)

### (1) 確かな学力の育成

「基礎的・基本的な知識・技能」に加え、それらを活用して課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力等」、さらには「主体的に学習に取り組む態度」を「学力」の重要な3要素ととらえ、「徳島『確かな学力』育成プロジェクト」に基づき、教員の指導力向上及び授業改善のための重点的・継続的な支援を充実し、児童生徒の「確かな学力」を育成した。

また、「めざせ!!『Super Student』プロジェクト」では、高い志を持つ高校生を対象に、次代のトップリーダー育成を目標とし「徳島ウインターキャンプ」を実施した。

### (2) 豊かな心の育成

規範意識を育成し、いじめや暴力行為を許さず、生命を大切にする心や思いやりのある心、豊かな感性を育むため、家庭や地域と連携し、子どもの発達段階に応じた道德教育の充実を図った。

また、「いのちと心のサポート事業」では、将来にわたり自他の生命を守り育てることができる児童生徒を育成するため、外部人材を活用した「いのちと心の授業」の実施や、大学と連携した「徳島版予防教育」の普及とともに、スクールカウンセラーによる相談支援体制の充実を図った。

### (3) 健やかに生きる力の育成

子どもの体力を向上させるため、学校体育の充実を図るとともに、子どもたちが主体的に運動を継続し、運動習慣の確立を図る取り組みを推進した。

また、徳島の未来を担うすべての子どもたちの健康づくりを目指して「元気なあわっ子憲章」を制定するとともに、学校における食育、健康教育を推進し、運動習慣の確立と望ましい生活習慣の形成を図り、生涯にわたって健康な生活を送れる力を育成した。

#### (4) 個性がひらく特別支援教育の推進

特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、幼児期から就労期まで一貫した指導・支援が行えるよう、一人一人の自立と社会参加を見据えた取組を推進した。

「発達障がい等『地域のまなび支援』推進事業」では、教育分野の専門家による「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」を設置し、最新の知見に基づいた実践研究や相談支援体制を強化するなど、特別支援学校のセンター的機能の充実と専門性の向上を図った。

#### (5) 行動につながる人権教育の推進

すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、「徳島県人権教育推進方針」に基づき、学校の教育活動全体を通じて人権教育を推進した。

また、人権教育の指導内容や指導方法等の研究・実践を進め、幼児児童生徒の知識・理解を深め、確かな人権感覚を育て、実践力を養うとともに、教員の指導力の向上と資質の向上を図った。

#### (6) 豊かな感性を育む芸術文化活動の推進

様々な学習機会を活用し、芸術文化に関する体験学習や優れた芸術文化の鑑賞機会の充実を図ることにより、児童生徒が豊かな感性や情操、創造性、コミュニケーション能力などを養うことができるよう取り組んだ。

新たに設立された「県中学校文化連盟」が主催する「県中学校総合文化祭」の開催を支援した。

### 3 人権を尊重し、社会全体で取り組む教育の実現（教職員課、学校教育課、人権教育課、生涯学習課）

#### (1) 学校・家庭・地域の連携の推進

県民の教育に対する理解を深めるとともに、学校・家庭・地域が一体となった教育体制づくりを進めた。

「放課後子供教室推進事業」や「週末等の教育支援体制構築事業」では、地域住民の参画を得て、放課後や週末等における安全安心な居場所の確保と、多様な学びや体験活動の場の提供を支援した。

(2) とくしまの教育力の活用

地域住民の教育支援活動への参画を通して、地域ぐるみで子どもたちを育てる気運の醸成を進めた。

学校支援地域本部の設置により学校支援ボランティアの組織化を図る「地域ぐるみの学校支援事業」などの取組の充実に努め、家庭での学習が困難な中学生等を対象とした学習支援を行う「地域未来塾」を推進した。

(3) 幼児期の成長を支える取組の推進

幼稚園と保育所、認定こども園、小学校との連携・接続を強化し、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進するとともに、家庭、地域社会の教育力を生かしたネットワークを構築することにより、幼児の日々の生活の連続性を踏まえた幼児教育の充実に取り組んだ。

(4) 社会教育における人権教育の充実

幼児期から高齢期に至るそれぞれのライフステージに対応した交流活動や研修会、研究大会等の人権に関する多様な学習活動を展開していくことを通じて、同和問題をはじめ様々な人権問題について理解を図るとともに、人権尊重の意識の高揚に努めた。

(5) 地域の教育に貢献する人材の育成

地域の絆を強め、地域の教育力を高めるため、人権教育や防災・減災をはじめとした地域の課題解決に取り組む人材の育成を進めた。

4 夢と希望に向かって学び続ける教育の実現（学校教育課、生涯学習課、教育文化課、文化の森振興本部）

(1) 多様なニーズに対応した学習機会の提供

県民の学習意欲を高めるとともに、県民に満足を与える学習機会を提供するため、質の高い生涯学習情報を提供する体制づくりを進めた。

また、日本語指導が必要な児童生徒を支援するためのネットワークを作り、帰国・外国人児童生徒が、早期に効果的な日本語教育が受けられ、生き生きと学校生活を過ごすことができるようにした。

(2) 学びの環境の充実

生涯にわたって学び続けることができる生涯学習社会の実現をめざすための取組みを、文化の森総合公園各館をはじめ生涯学習に関連する各施設において推進した。

また、文化の森開館25周年を機に、展示解説の多言語化や障がい者、高齢者、外国人等異なる特性の人にも、わかりやすい表示・サインに変更する等、県民にとって安全安心で利用しやすい施設づくりを進めた。

### (3) 郷土とくしまから学ぶ機会の充実

子どもたちが、郷土の自然や歴史・文化に対して理解を深めることができるよう、学校での授業・課外活動において、文化の森総合公園各館が保有する資料の活用を図るとともに、学芸員等専門職員の講師派遣をより一層進めた。

### (4) 文化遺産を活用した学びの場づくり

県内所在の文化財について基礎調査を行い、文化財の適切な保存・活用を図るとともに、県民の参加を得ながら、文化財を活かした地域づくりをめざす各地域の取組みを支援した。

「徳島『いにしへのたから（文化財）』次世代継承事業」では、埋蔵文化財総合センターを拠点に、文化財の4Kデジタルコンテンツを作成し情報発信を行うなど、新たな角度から公開活用を展開した。

### (5) 学び続ける場と機会の充実

生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現をめざし、これまでの学習成果を指導者や教育支援者としての活動につなげることにより、さらなる生涯学習意欲の増進を進めた。

## 5 安全・安心で魅力あふれる教育の実現

(教育政策課，施設整備課，教育創生課，教職員課，福利厚生課，学校教育課，体育学校安全課)

### (1) 安全・安心なとくしまの学校づくり

南海トラフ巨大地震等に備え、県立学校や市町村立学校等の耐震化を推進し、児童生徒が、安全・安心に学ぶことのできる教育環境の実現に努めるとともに、県立学校については、中核的な避難所として機能するように、施設・設備の強化・充実を進めた。

また、自然災害等の危険に際して自らの命を守り抜くため「主体的に行動する態度」の育成や、安全で安心な社会づくりへの貢献について、児童生徒の意識の向上を図るとともに、児童生徒一人一人が生き生きと活動でき、「心の居場所」となる魅力のある楽しい学校づくりを推進した。

「高校生防災士育成支援事業」では、高校生の「防災士」資格取得を支援し、地域防災の担い手となる人材を育成するため、「あわっ子防災士養成講座」を開催した。

(2) 社会の変化に対応した魅力ある学校づくり

県民にとって魅力のある教育活動を展開していくための高校再編を進めるとともに、社会の変化に対応したこれからの高校教育を創造するために、少子化の進行やグローバル化への対応など中長期的な課題に対する調査・研究に取り組んだ。

また、「『阿波の元気もり森』推進事業」では、次代の「林業」を担う人材を育成するため、那賀高校と三好高校において、施設・設備を充実させ、地域に根ざした林業学習ができる教育システムの構築に取り組んだ。

(3) 希望に導く教職員の育成

優秀な人材の確保を図るとともに、教職生活全体を通じて学び続ける教員を支援するなど、教職員の資質能力向上に向けた仕組みづくりや研修の充実に努めた。

また、メンタルヘルス対策や健康管理対策等を行い、教職員が安心して教育活動に専念し、その能力を存分に発揮できるための支援策を推進した。

(4) 教育機関の運営体制の充実

教職員の校務負担の軽減を図り、児童生徒と向き合う時間を増加させるために、ICTを活用した校務の情報化に取り組んだ。

また、徳島県教育振興計画（第2期）の進捗状況について、学識経験者の知見を活用し、点検・評価及び改善・見直しを行い、次年度以降の施策の改善に努めるとともに、効果的な教育行政の推進を図った。



## II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の推進	農工商連携 6次産業化プロデュース事業	「6次産業化をプロデュースする人材」を育成するため、農業・工業・商業科設置高校が連携し、それぞれの専門分野を活かした、生産から加工、販売に関する実践的な教育を推進した。 (3,330)
	スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業	地域創生のため、地域のことを深く知り、地域の魅力を創出できる人材を育成するとともに、世界に向けてそれらを発信できるグローバルプロデューサーを育成した。 (8,000)
	高校生による海外ビジネス・マーケティング事業	高校生による新たなビジネスモデルの取組みを推進するため、海外で開催される「見本市」等において展示販売等を実施し、優れた国際感覚を持つ人材を育成した。 (2,336)
	産学官連携による産業教育推進事業	専門高校における実学に則した産業教育の取組みを推進するため、産学官の連携を強化するとともに、その成果を展示発表会等への参加を通じて県内外に発信した。 (1,266)
	「エシカル消費」推進プロジェクト	社会と環境に配慮した消費行動への意識を高めるため、高校生が多様な主体と連携して「エシカル消費」を実習し、その成果を小中学生等に発信した。 (1,000)
	Tokushima 英語村プロジェクト・ステップアップ事業	小・中・高等学校を通じて英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や能力の育成を図るとともに、広く世界に目を向け、国際協調の精神を育むため、外国人との交流や体験活動の機会を創造し、他者と協働しながら未来を拓くことのできるグローバル人材の育成に努めた。 (19,044)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現	徳島グローバルスタンダード人材育成事業	社会の多様な場面でグローバル化が急速に進む中、本県の成長を牽引する人材を育成するため、友好協定を締結しているドイツ・ニーダーザクセン州や経済交流が活発化するアジア地域等との間で、学校間交流促進による教育環境の国際化を図り、世界基準（グローバルスタンダード）での教育展開を行った。 (5,400)
	帰国・外国人児童生徒“いきいき”モデル事業	国際理解教育の活性化とその一層の充実を図るため、民間団体等との協働により、日本語指導のスキルを持つ人材を活用し、日本語指導が必要な児童生徒に対する支援や国際理解教育活動等における教員への支援を行った。 (7,100)
	外国人英語指導助手配置事業	本県における英語教育の改善と充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を通じて外国人との相互理解を深め、本県の国際化の促進に資するため、高等学校等に外国人英語指導助手を配置した。 (99,093)
	英語教育強化地域拠点事業	小学校における英語教育の早期化、教科化や、中・高等学校における英語教育の高度化等の英語教育改善に向けた実証的資料を得るため、国の指定事業を活用した研究開発を行った。 (2,658)
	スーパーグローバルハイスクール事業	高等学校段階から語学力、幅広い教養、問題解決能力等の国際的素養を身につけるため、国際化を進める大学や企業等と連携を図り、質の高いカリキュラムの開発・実践を行った。 (9,826)
	渦潮スポーツアカデミー推進事業	徳島県の未来のトップアスリートを発掘・育成・強化するため、鳴門渦潮高校や鳴門・大塚スポーツパークを中心に、県内のスポーツ拠点施設と相互に連携しながら、各施設の特徴を活かして試合・講習会等を展開した。 (8,000)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現	徳島トップスポーツ校育成事業	本県高校スポーツの競技力向上と普及・振興を図り、全国大会で入賞できる部活動を育成するため、強化推進校・競技普及校・地域活性化校の3つのカテゴリーに分けて指定し、それぞれの特徴に応じた活動を支援した。 (13,000)
	競技スポーツ重点強化対策事業	長期的な展望に基づいたジュニア層からの強化を図るため、小学校における競技会や調査研究等を行うとともに、中学校・高校学校における県外有力校との練習試合や強化合宿等を行った。 (6,954)
	地域スポーツ人材の活用実践支援事業	中学校・高等学校において、運動部活動の充実や地域社会との連携を促進するため、運動部活動に専門性のある外部指導者を派遣するとともに、外部指導者の資質向上のための研修会を実施した。 (8,169)
	「中学生の文化芸術力」共創事業	次代の「あわ文化」を担う人材を育成するため、学校教育をはじめ、様々な場面において、中学生の文化芸術力を創り出し、高めていく活動を支援した。 (4,329)
	文化の森25周年事業	文化の森開館25周年を契機として、施設のユニバーサル化を進め、多くの方に利用していただける施設とするため、展示解説の多言語化等を実施するとともに、民間と協働して、春には「東京富士美術館所蔵展」、秋には「フィギュア展」、マチアソビと連携したイベントを開催し、文化の森の魅力を発信した。 (42,969)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果												
1 新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現	文化の森各館企画展等開催費	<p>本県文化を先導する拠点としての役割を果たし、文化活動の活性化を図るため、文化の森各館において企画展等を開催した。</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 博物館</td> <td>8,050</td> </tr> <tr> <td>(2) 近代美術館</td> <td>9,842</td> </tr> <tr> <td>(3) 文書館</td> <td>815</td> </tr> <tr> <td>(4) 21世紀館</td> <td>4,137</td> </tr> <tr> <td>(5) 鳥居龍蔵記念博物館</td> <td>3,004</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">計 (25,848)</td> </tr> </table>	(1) 博物館	8,050	(2) 近代美術館	9,842	(3) 文書館	815	(4) 21世紀館	4,137	(5) 鳥居龍蔵記念博物館	3,004	計 (25,848)	
(1) 博物館	8,050													
(2) 近代美術館	9,842													
(3) 文書館	815													
(4) 21世紀館	4,137													
(5) 鳥居龍蔵記念博物館	3,004													
計 (25,848)														
2 知・徳・体の調和がとれ、社会を生き抜く力を育てる教育の実現	学力向上「徹底」プロジェクト	<p>本県の学力向上の課題を解決するため、学校の教育力向上の実践研究に取り組む「学力・学校力向上拠点校」を設置し、大学サテライト研修室と連携した集中的・継続的な支援を行うとともに、本県ならではのPDCAサイクル確立に向けた学力・学習状況調査を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(13,800)</p>												
	めざせ!!「Super Student」プロジェクト	<p>将来、社会の各分野を牽引していく高い人間力を備えた「Super Student」育成のため、京都大学との連携を活かし、学校の枠を越えて切磋琢磨する合宿「徳島ウインターキャンプ」や、「科学五輪チャレンジ」を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(3,800)</p>												
	道徳教育総合支援事業	<p>道徳教育の充実を図るため、教員研修の実施や学校への講師派遣等による指導方法の改善に取り組むとともに、保護者等向けパンフレットの配付や講演会を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(5,732)</p>												
	いのちと心のサポート事業	<p>将来にわたり自他の生命を守り育てることができる児童生徒を育成するため、専門性・経験豊富な外部人材を活用した「いのちと心の授業」や、高等教育機関と連携した「徳島版予防教育」の普及、スクールカウンセラーの相談支援体制の充実等、いのちと心について考えを深める取組を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(66,680)</p>												

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 知・徳・体の 調和がとれ、社 会を生き抜く力 を育てる教育の 実現	体力アップ！サンライズ事業	子どもの体力を向上させるため、専門的な指導員による体育科授業の支援を行うとともに、ICTによるランキングシステムの活用により運動習慣の確立を図るなど、地域、学校、家庭が連携した運動環境の整備を行った。 (846)
	元気な阿波っ子！育成事業(学校保健総合支援事業)	元気な阿波っ子を育成するため、子どもたちの幅広い健康課題に迅速かつ適切に対応するとともに、本県の子どもの特徴的な健康課題である「肥満予防」に向けて、「食事」「運動」「生活習慣」を連携させた取組みを実施した。 (2,000)
	全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会開催費	学校給食の充実及び学校における食育の推進を図るため、「全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会」を開催し、栄養教諭をはじめとする教職員の児童生徒に対する食に関する指導力の向上を図った。 (2,000)
	発達障がい等「地域のまなび支援」推進事業	多様な学びの場の充実や教員の専門性向上のため、教育分野の若手研究者で構成する「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」を設置し、「eラーニング研修支援システム」の開発など特別支援教育の充実を図るとともに、企業とのマッチング強化など特別支援学校生徒の自立に向けた就労支援体制を強化した。 (9,222)
	特別支援「西部モデル」構築事業	県西部地域における特別支援教育を推進するため、地域住民の協力による実習機会の充実や、「発達障がい者総合支援センターアイリス」等関係機関との連携により特別支援教育の「西部ならでは」の取組みを展開した。 (3,072)
	とくしま特別支援トータルネットワーク事業	個々の発達に即した特別支援教育の充実を図るため、障がいの重度・重複化に対応する教職員研修や、小・中・高等学校への相談支援を実施するなど特別支援学校を核とした全県支援ネットワークを構築した。 (3,504)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 知・徳・体の調和がとれ、社会を生き抜く力を育てる教育の実現	とくしま・すだちサポート事業	特別支援学校において、障がいのある生徒の就労を促進するため、雇用ニーズに対応した4分野（ビルメンテナンス、接客、ICT、介護）について「特別支援学校版技能検定」を行うなど、職業スキルの獲得に結びつく充実した指導を実施した。 (2,607)
	人権教育研究推進事業	人権教育の一層の推進を図るため、学校、家庭、地域社会が一体となった教育上の総合的な研究や、学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究を実施した。 (2,800)
	中・高生による人権交流事業	人権問題を解決する実践力を身につけた生徒を育てるため、県内の中学校・高等学校等の生徒を対象に人権交流を実施した。 (1,300)
	人権教育指導員委嘱事業	児童・生徒の人権意識の高揚と様々な人権問題の解決を図るため、人権教育指導員を選任し、県内すべての学校を対象に人権教育の指導を行った。 (1,935)
3 人権を尊重し、社会全体で取り組む教育の実現	放課後子供教室推進事業	心豊かでたくましい子供を社会全体で育むため、余裕教室等を活用して放課後の子供の安全・安心な居場所を確保し、地域の方々の参画を得て、多様な学びや体験活動を推進した。 (33,176)
	週末等の教育支援体制構築事業	多様で変化の激しい社会に対応する力を育成するため、週末や長期休業日に、学校または社会教育施設等において、児童・生徒を対象とした地域の人材による講義や体験活動の実施を推進した。 (619)
	子ども読書ネットワーク推進事業	子どもの読書活動の意義や重要性に対する理解や関心を高め、関係団体のネットワークづくりを推進するため、全県及び地域フォーラムを開催した。 (2,451)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3 人権を尊重し 社会全体で取り 組む教育の実現	地域ぐるみの学校支援事業	地域の教育力の向上を図るため、中学校区を単位として学校支援ボランティアを配置し、学校教育活動の支援を行うとともに、家庭での学習が困難な中学生等を対象とした学習支援「地域未来塾」の設置を推進した。 (3,850)
	スーパーオンリーワンハイスクール事業	地域に誇りを持ち、そのよさを全国や世界に向けて情報発信できる人材を育成するため、高校生が独自に企画実施する地域や学校の特色を活かした「全国や世界を目指す」取組みを支援した。 (10,000)
	「NIPPON」探究スクール事業	我が国と郷土を愛し他国を尊重する態度と心を育成するため、主として明治から昭和における歴史を紐解き、各時代における世界の中の「NIPPON」、日本の中の徳島の政治・経済・外交を探究する学校を育成するとともに、生徒自身が「公共」について考える機会を設けた。 (1,000)
	高校生防災士育成支援事業	南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、地域防災の担い手となる人材を計画的に育成するため、現役高校生の「防災士」資格取得を支援した。 (4,158)
4 夢と希望に向 かって学び続け る教育の実現	徳島「いにしへのたから（文化財）」次世代継承事業	これまで蓄積してきた膨大な出土品を「生きた教材」として、次世代へつなげるとともに、文化財の魅力で徳島を元気にするため、出土資料の再整理による教材化、文化財の4Kデジタルコンテンツ化をはじめとした文化財の公開活用について、設立20周年を迎える埋蔵文化財総合センターを拠点に推進した。 (7,581)
	守護町勝瑞遺跡支援事業	本県を代表する歴史文化遺産である「守護町勝瑞遺跡」を県内外に発信し地域振興につなげるため、藍住町が実施する「城館跡整備事業」「正貴寺跡公有地化事業」に対して支援した。 (6,750)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
4 夢と希望に向かって学び続ける教育の実現	文化財保存修理事業	文化財保護に資するため、市町村及び指定文化財所有者等が行う文化財保存事業に対して支援した。 【主な事業】 (1) 国選定「三好市東祖谷山村落合」重要伝統的建造物群保存地区保存対策事業 (2) 国指定「木造聖観音座像」保存修理事業 (11,792)
	埋蔵文化財発掘調査・出土品 文化財整理事業	文化財保護に資するため、四国横断自動車道関連事業等に伴う埋蔵文化財発掘調査等を実施した。 (1) 発掘調査費 33,349 (2) 出土品整理費 117,842 計 (151,191)
	青少年体験活動推進事業	青少年の自然体験活動を推進するため、牟岐少年自然の家を中心とした体験活動プログラムを実施した。 (367)
5 安全・安心で魅力あふれる教育の実現	高校施設耐震診断・改修事業	県立学校について、巨大地震等に備え、高校施設の耐震化を推進するため、耐震改修工事を計画的に実施した。 (1,820,102)
	県立高校総合寄宿舍耐震化等 推進事業	総合寄宿舍について、巨大地震等に備えるため、耐震化するとともに、併せて入寮生の住環境の改善を図った。 (736,605)
	県立学校避難所施設強化・充 実事業	県立学校について、中核的な避難所として機能するように、安全性やライフラインを確保するため、LED太陽光照明灯や自家発電装置等を計画的に整備した。 (52,158)
	県立学校施設長寿命化推進事 業	施設の長寿命化、ライフサイクルコストの縮減及び財政負担の平準化を図るため、各県立学校における長寿命化計画の策定に向けて施設調査を行った。 (9,713)



(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
5 安全・安心で 魅力あふれる教 育の実現	「守るぞ！地域防災」推進事業	地域防災の担い手となる人材の育成と実践力の向上を図るため、すべての県立高校で「防災クラブ」を立ち上げるとともに、防災ボランティアとして必要な知識・技能を身につけた生徒を育成した。 (4,300)
	実践的防災・安全教育総合推進事業	学校における防災・安全管理体制の充実を図り、児童生徒等が主体的に安全を判断し行動できる能力を身につけるため、地域住民・保護者・関係機関との連携体制の構築に積極的に取り組む地域や学校を支援した。 (3,765)
	体育・部活動あんしんサポート推進事業	体育授業や運動部活動における事故を未然に防止するため、事故防止に向けた研修会を行うとともに、中学校体育授業での武道必修化に対し、教員の指導力向上のための講習会や柔道安全対策指導員の配置等を行った。 (3,936)
	「阿波の元気もり森」推進事業	豊かな森林資源の未来を創造する人材を育成するため、那賀高校に新たに「森林クリエイト科」を設置し、林業教育に必要となる施設を整備するとともに、三好高校と併せて次代の循環型成長産業「林業」に関する教育を推進した。 (17,611)
	新しい学校づくり推進事業	高校再編による新しい学校づくりや活性化を推進するため、円滑な統合に向けた学校間連携推進事業などの取組みを行った。 (1,388)
	「地方と都市を結ぶデュアルスクール」モデル化事業	地方と都市の学校を結ぶ新たな教育環境を創造するため、地方の良さの体験と情報発信を行える「新しい学校のかたち」のモデル化に向けて取り組んだ。 (244)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
5 安全・安心で 魅力あふれる教 育の実現	人口減少社会における高校教 育のモデル化事業	人口減少社会における高校教育のモデルを開発するため、ICT（テレビ 会議システム）を活用した遠隔授業の導入に向けた方策の実証研究を行った。 (3, 247)
	生徒の未来を「つなぐ」推進 プロジェクト	定時制・通信制課程生徒の社会人基礎力向上のため、就労支援・ソーシャ ルスキル向上支援・学力向上支援等を推進した。 (3, 692)
	教職員研修費	教員に必要な資質能力を育成するため、基本研修となる初任者研修、授業 力向上研修、教職5年次研修、10年経験者研修、各学校の中核となる教員を 養成するリーダーシップ養成研修等を実施した。 (26, 459)
	教職員職場復帰支援事業	教員の職場復帰後のメンタル不調の再発を防止するため、復帰者の在籍校 に臨床心理士等を派遣し、本人及び管理職等との面談を行い、具体的な対応 への助言指導を行った。 (449)
	情報化による魅力ある学校づ くり推進事業	教職員が生徒一人ひとりと向き合う時間等を増加させ、魅力ある学校づく り等を推進するため、情報化により教職員の校務負担を軽減し、生徒の出欠 管理、成績処理等の基本的な校務を共通システムとして行う「学校支援シス テム」の運用等を実施した。 (10, 152)

### Ⅲ 歳入歳出決算額

#### 1 一般会計決算額

##### (1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 の 比 較
教 育 政 策 課	135,929,000	138,037,787	138,014,697	0	23,090	2,085,697
コンプライアンス推進室	0	0	0	0	0	0
施 設 整 備 課	810,797,000	740,383,674	740,383,674	0	0	△ 70,413,326
教 育 創 生 課	89,566,000	24,887,173	24,887,173	0	0	△ 64,678,827
教 職 員 課	12,029,468,000	12,098,694,201	12,098,694,201	0	0	69,226,201
福 利 厚 生 課	38,938,000	42,583,647	42,583,647	0	0	3,645,647
学 校 教 育 課	3,449,315,000	3,434,913,742	3,433,977,224	79,200	857,318	△ 15,337,776
特 別 支 援 教 育 課	104,414,000	91,395,568	91,395,568	0	0	△ 13,018,432
人 権 教 育 課	40,109,000	350,853,363	44,697,969	1,006,875	305,148,519	4,588,969
体 育 学 校 安 全 課	149,587,000	110,816,014	110,816,014	0	0	△ 38,770,986
生 涯 学 習 課	32,336,000	21,546,380	21,546,380	0	0	△ 10,789,620
教 育 文 化 課	158,527,000	158,169,071	158,169,071	0	0	△ 357,929
文 化 の 森 振 興 本 部	276,417,000	277,633,126	277,611,537	0	21,589	1,194,537
計	17,315,403,000	17,489,913,746	17,182,777,155	1,086,075	306,050,516	△ 132,625,845

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 の 比 較
教 育 政 策 課	1,409,138,000	1,388,954,627	0	20,183,373	20,183,373
コンプライアンス推進室	1,004,000	879,381	0	124,619	124,619
施 設 整 備 課	4,602,672,000	3,410,246,471	491,575,000	700,850,529	1,192,425,529
教 育 創 生 課	615,256,000	452,197,980	159,465,000	3,593,020	163,058,020
教 職 員 課	65,270,189,000	65,062,258,734	0	207,930,266	207,930,266
福 利 厚 生 課	7,901,427,000	7,814,565,521	0	86,861,479	86,861,479
学 校 教 育 課	1,787,448,000	1,762,222,322	0	25,225,678	25,225,678
特 別 支 援 教 育 課	174,874,000	154,791,839	0	20,082,161	20,082,161
人 権 教 育 課	152,097,000	142,142,973	0	9,954,027	9,954,027
体 育 学 校 安 全 課	213,647,000	168,711,129	0	44,935,871	44,935,871
生 涯 学 習 課	193,734,289	177,997,648	9,000,000	6,736,641	15,736,641
教 育 文 化 課	305,267,711	301,301,875	0	3,965,836	3,965,836
文 化 の 森 振 興 本 部	647,597,000	629,876,357		17,720,643	17,720,643
計	83,274,351,000	81,466,146,857	660,040,000	1,148,164,143	1,808,204,143

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と 収入済額 との比較
学 校 教 育 課	奨 学 金 貸 付 金 特 別 会 計	202,251,000	610,690,245	488,345,059	0	122,345,186	286,094,059
計		202,251,000	610,690,245	488,345,059	0	122,345,186	286,094,059

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	予算現額と 支出済額 との比較
施 設 整 備 課	県 有 林 県 行 造 林 事 業 特 別 会 計	250,000	240,714	0	9,286	9,286
学 校 教 育 課	奨 学 金 貸 付 金 特 別 会 計	202,251,000	200,935,564	0	1,315,436	1,315,436
計		202,501,000	201,176,278	0	1,324,722	1,324,722

